

2025年4月16日
株式会社イオン銀行
イオン琉球株式会社

イオン銀行とイオン琉球が特別支援学校の学生向けに、
体験型金融授業「卒業後の暮らしに役立つお金」を開催しました
～イオン社会福祉基金を活用し、キャリア教育を支援～

株式会社イオン銀行(代表取締役社長：木坂 有朗)とイオン琉球株式会社(代表取締役社長：鯉淵 豊太郎)は、沖縄県立はなさき支援学校および沖縄県立鏡が丘特別支援学校の高校生に金融教育の機会を提供すべく、ショッピングセンターにて「卒業後の暮らしに役立つお金」をテーマにした体験型金融授業を開催いたしました。



イオンは、全国の障がい者の方々への社会活動への参加促進、障がい者福祉の向上を目的として、イオン社会福祉基金[※]を設立し、グループ各社はこの基金を活用した支援活動を行っております。
[※] イオングループ労使双方がひとりあたり毎月 50 円ずつ(労使で月 100 円)を積み立て、従業員による障がい者施設へのボランティア活動やパラスポーツ推進を柱とした社会福祉活動を行うものです。

このたび、イオン社会福祉基金を活用し、沖縄県内の特別支援学校2校の学生の皆さんの卒業後のキャリア支援のため、体験しながらお金について学ぶ機会を提供すべく、イオン銀行とイオン琉球が協働で校外学習を企画し、「卒業後の暮らしに役立つお金」をテーマとする体験型金融授業を開催いたしました。

当日は、イオン琉球の2つのショッピングセンターにおいて、銀行の役割・預金サービスなどに関する金融授業やATM操作・WAONカードへの現金チャージ、レジゴーを利用したキャッシュレスでのお買い物・お支払いを体験いただきました。参加した学生の皆さんからは、「お金についての授業が楽しかった」「口座の仕組みや、ATMの入出金を詳しく知ることができた」「レジゴー[※]を初めて使ったが、とても簡単で便利だった」など、数多くのお声をいただきました。

[※] レジゴーとは、お客さま自身が貸出用の専用スマートフォン、もしくは専用アプリをダウンロードしたご自身の端末で商品のバーコードをスキャンし、専用レジで会計するイオンの新しいお買い物スタイルです。

これからもイオン銀行とイオン琉球は、企業活動を通じて社会課題の解決に資する取組みを継続して行っていくとともに、イオングループ一体となって持続可能な社会の実現を目指し、積極的な支援活動を推進してまいります。

■ショッピングセンターでの体験型金融授業 概要

1. 主な学習内容

- 高校卒業後の暮らしに必要なお金（金融）に関する授業
- ATM操作およびWAONカードへの現金チャージなどの体験
- レジゴーを利用したお買い物・お支払い体験

2. 参加学校および開催概要

◆ 沖縄県立はなさき支援学校

開催日時：2025年2月 4日（火）10時30分～12時00分

開催場所：イオンスタイルライカム

参加者：沖縄県立はなさき支援学校の高校生18名

◆ 沖縄県立鏡が丘特別支援学校

開催日時：2025年2月13日（木）9時00分～12時15分

開催場所：イオンスタイルてだこ浦西駅前

参加者：沖縄県立鏡が丘特別支援学校の高校生7名

3. 参加した学生の皆さんから寄せられたお声

- イオン銀行のお金についての授業が楽しかった。
- ATMは学校卒業後に利用したいので勉強になった。
- ATMでの入出金を覚えた。
- WAONカードの使い方を知り、大人になったら使いたいなあと思った。
- レジゴーでの買い物をしてみて、とても楽しかった。その後も何回か使い、今は便利で快適に使っている。

以上